

2020年3月期 決算短信補足資料

2020年5月

 全国保証株式会社

for your dream and happiness

証券コード:7164

目次

- I. 決算の概要 P 3
- II. 今後の展開 P 11

2020年3月期 決算サマリー

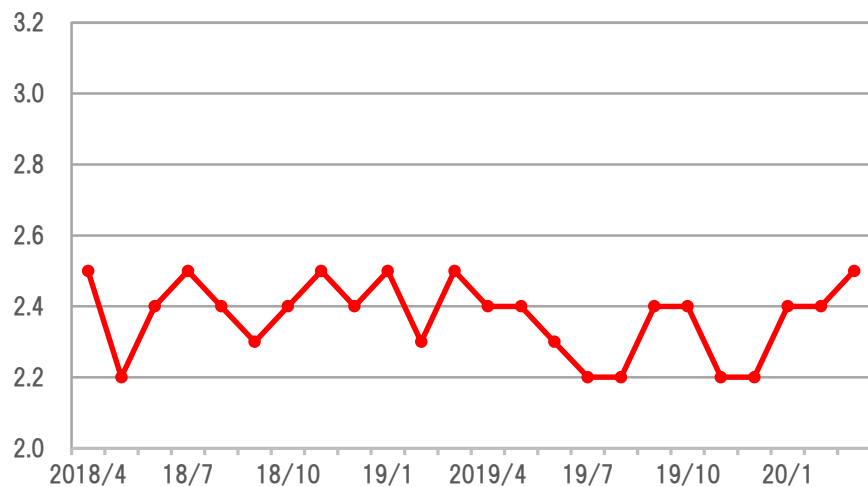
- 新規提携については、当事業年度において銀行1行、信用組合1組合、JA3組合、JF1組合の合計6機関と契約締結
- 2020年3月期の新規保証実行件数は、上半期は順調に推移したものの、相次ぐ自然災害や消費税率引き上げ後の消費者マインドの低下により、年間計画および前期実績を下回った
- 保証債務残高が堅調に推移したことにより営業収益は順調に推移、営業費用(与信関連費用)は、おおむね計画通りで推移
- 2020年3月期において、信用格付Aレンジを取得したほか、他保証会社の株式を取得し子会社化を実施

I . 決算の概要

経済環境

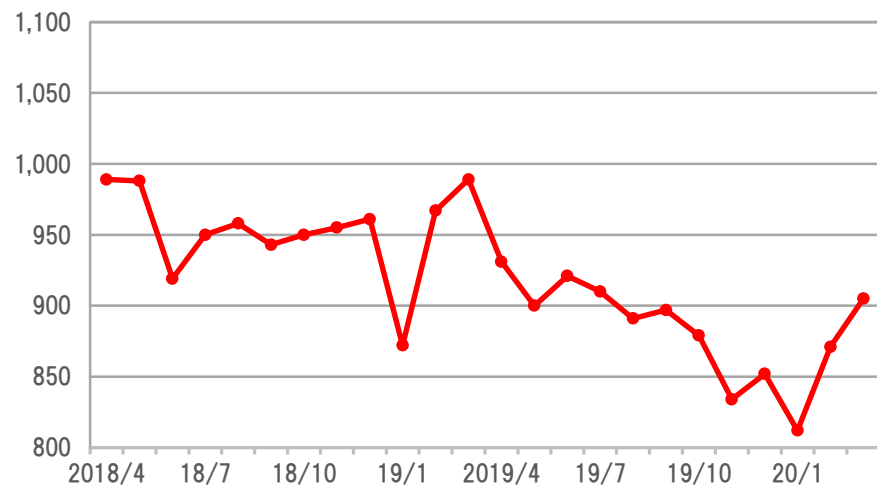
- 雇用・所得環境の改善が継続し、景気が緩やかな回復を見せるなか、諸外国の通商問題や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、先行き不透明な状況となった
- 住宅市場については、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続し、新設住宅着工戸数のうち持家・分譲住宅の合計は前年同期並みとなったものの、相次ぐ自然災害や消費税率引き上げなどによる消費者マインドの低下により、2019年10月以降は弱含みで推移
- 住宅ローン市場についても、住宅市場同様に弱含みで推移

失業率(季節調整値)
(2018年4月～2020年3月) (単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)
(2018年4月～2020年3月) (単位:千戸)

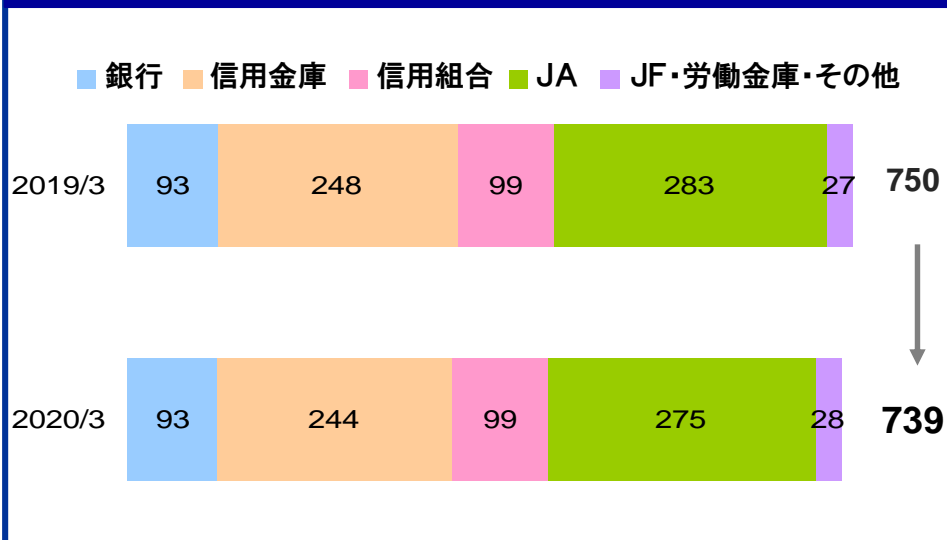


出所:国土交通省 住宅着工統計

金融機関との提携状況

業態別の提携金融機関数の推移

(単位:機関)

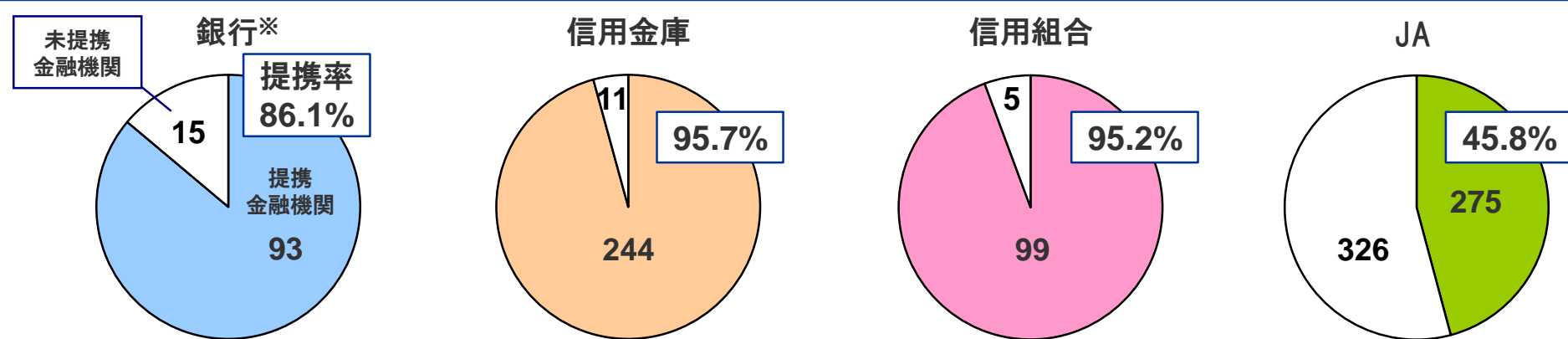


- 2020年3月期において、銀行1先、信用組合1組合、JA3組合、JF1組合の合計6機関と契約締結
一方、金融機関同士の合併により17機関が減少
結果、提携金融機関数は739機関(前期末比▲11機関)

新規提携	合併による減少	差引
6機関	17機関	▲11機関

業態別の提携シェア

(単位:機関)



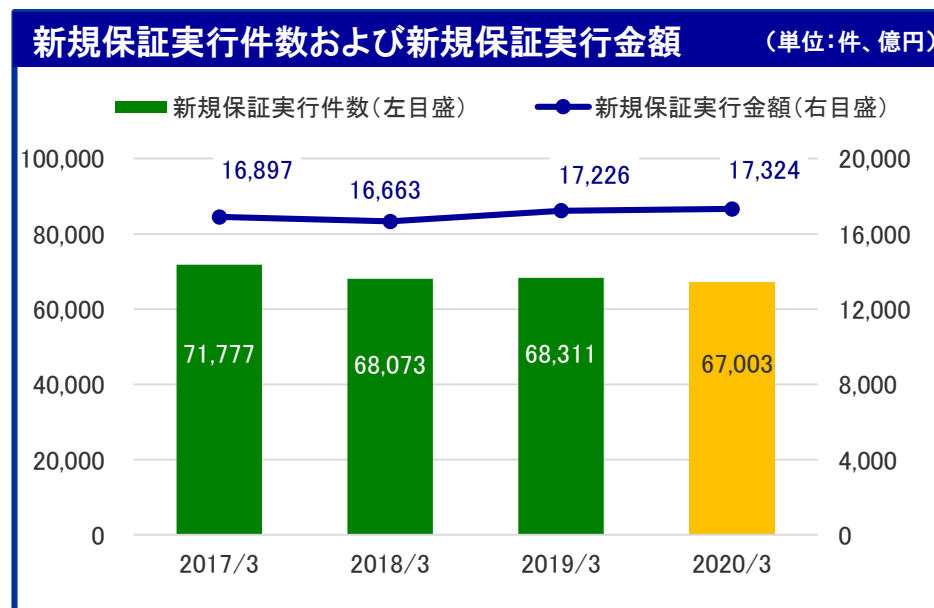
※銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行、新生銀行の合計

新規保証実行および保証債務残高の状況

2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

● 新規保証実行件数および新規保証実行金額
 新規保証実行件数は67,003件(前期比1.9%減)、
 新規保証実行金額は1兆7,324億円(前期比0.6%増)となった
 2020年3月期の新規保証実行件数は、上半期は順調に推移したものの、
 相次ぐ自然災害や消費税率引き上げ後の消費者マインドの低下により、
 年間計画および前期実績を下回った

● 保証債務残高
 計画を上回り13兆7,064億円(前期比7.8%増)となった



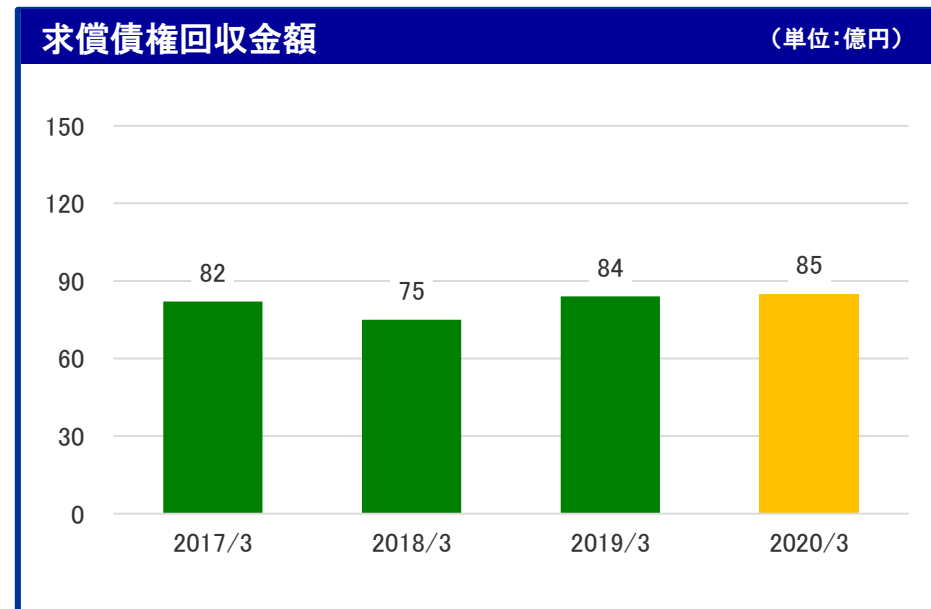
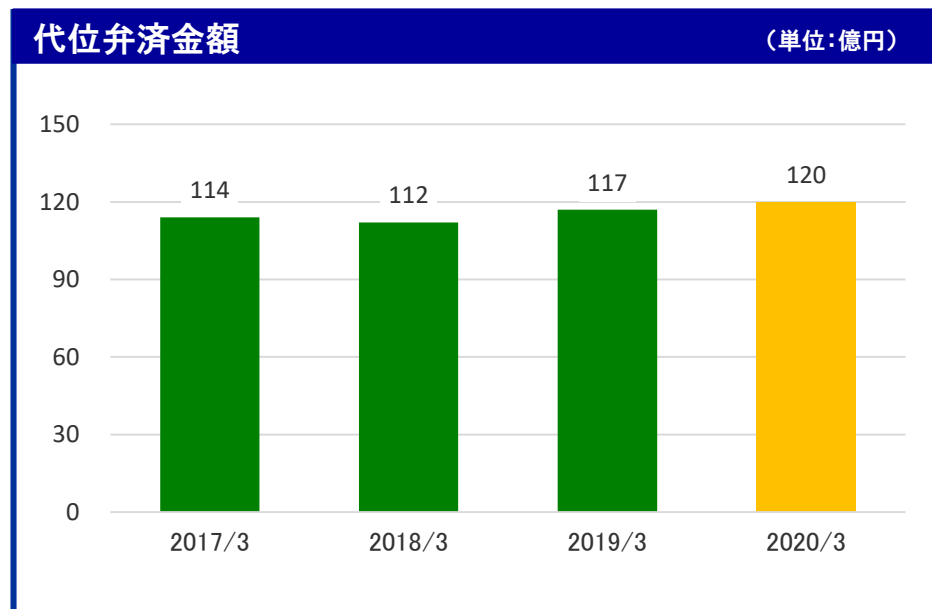
※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

※2020年3月期の保証債務残高には東和信用保証株式会社の903億円分を含む

代位弁済金額および求償債権回収の状況

2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

- 代位弁済金額
保証債務残高が増加するなか2020年3月期の代位弁済金額は120億円と計画を下回った
- 求償債権回収金額
代位弁済から担保物件売却までの期間が長期化したことにより85億円と計画を下回った



2020年3月期 決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	19/3期	20/3期	前期比	当初 年度計画
営業収益	43,204	45,203	4.6%	44,700
営業費用	8,975	9,823	9.4%	9,600
うち与信関連費用	2,727	2,733	0.2%	2,900
債務保証損失引当金繰入額	3,034	2,547	▲16.0%	3,400
貸倒引当金繰入額	▲307	185	—	▲500
うちその他	6,248	7,090	13.5%	6,700
営業利益	34,229	35,379	3.4%	35,100
経常利益	35,169	35,760	1.7%	36,100
特別損益	▲324	▲518	59.8%	—
当期純利益	24,134	24,430	1.2%	24,950

ポイント

- **営業収益**
保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は452億3百万円を計上。
- **営業費用**
営業費用は計画通り進捗し、98億23百万円を計上。
- **経常利益**
劣後特約付きローンによる支払い手数料の発生などにより経常利益は当初計画を下回る。
- **特別損失**
投資信託の売却損や、投資有価証券評価損などにより、特別損失5億18百万円を計上。
- **当期純利益**
上記の状況により、当期純利益は244億30百万円を計上。

※ 年度計画は2019年5月9日発表の業績予想数値。なお、2020年3月16日に業績予想の修正を公表済

2020年3月期 決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期末	増減比
流動資産	188,741	204,500	8.3%
現金及び預金	175,742	191,595	9.0%
求償債権	12,266	13,652	11.3%
有価証券	6,334	5,731	▲9.5%
貸倒引当金	▲6,302	▲7,533	19.5%
固定資産	132,490	168,468	27.2%
投資その他の資産	131,671	167,535	27.2%
投資有価証券	107,649	138,701	28.8%
長期貸付金	-	2,850	-
長期預金	19,000	19,000	0.0%
資産合計	321,232	372,968	16.1%

	負債の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期末	増減比
流動負債	30,406	29,910	▲1.6%
前受収益	16,264	16,687	2.6%
債務保証損失引当金	6,453	5,905	▲8.5%
固定負債	163,826	198,008	20.9%
長期借入金	-	30,000	-
長期前受収益	163,767	167,944	2.6%
負債合計	194,233	227,919	17.3%
純資産の部			
株主資本	126,492	144,948	14.6%
評価・換算差額等	388	▲47	▲112.1%
純資産合計	126,998	145,049	14.2%
負債・純資産合計	321,232	372,968	16.1%

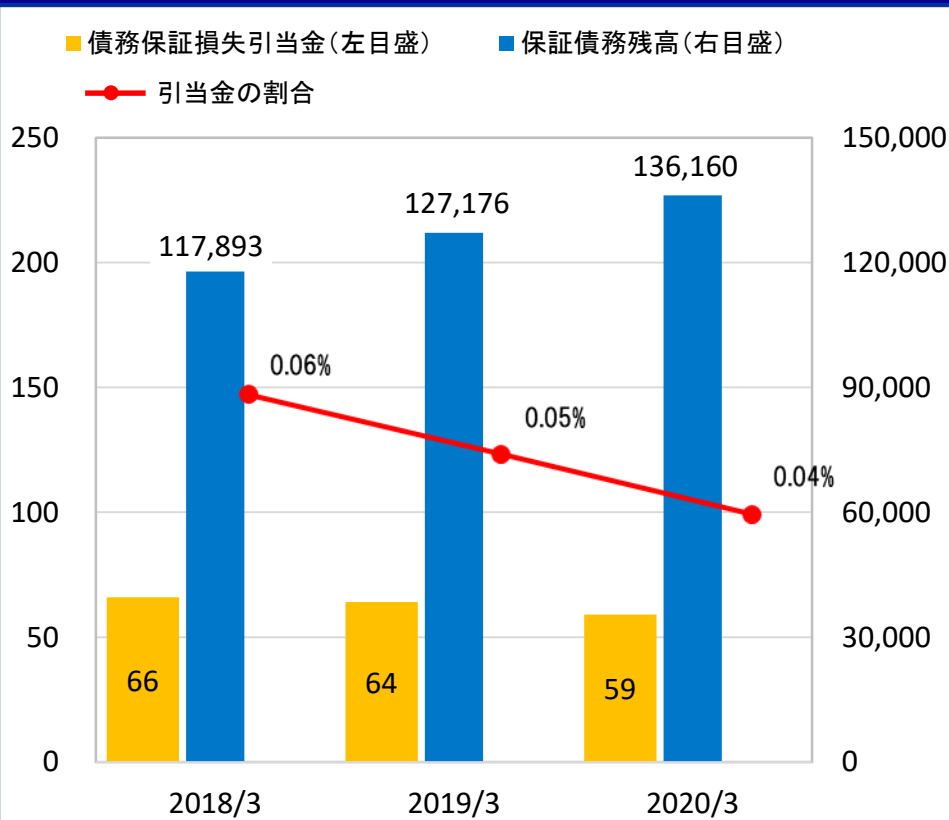
ポイント

- **資産**
社債などの購入により投資有価証券が増加。
- **負債**
信用格付の取得と強固な財務基盤構築を目的とし、劣後特約付きローンによる資金調達を実施。

債務保証損失引当金について

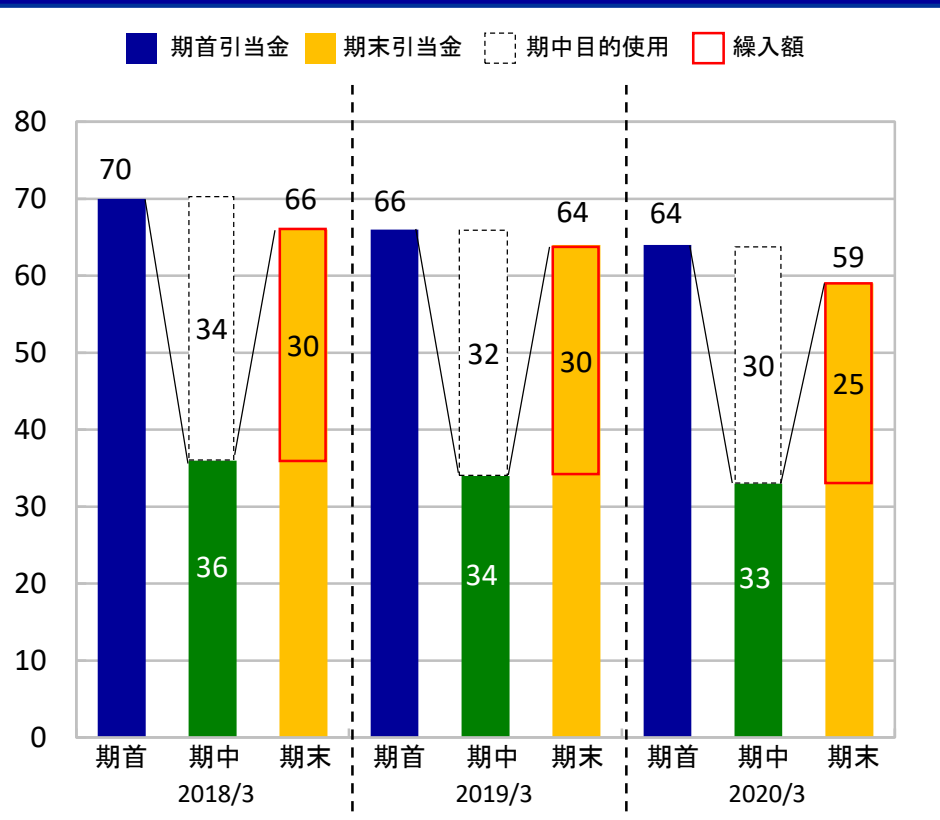
- 保証債務残高に対する引当金の割合は引き続き低位
- 2020年3月期の債務保証損失引当金繰入額は、損失見込額が低位で推移したことを主因として計画を下回り、25億円となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



※引当金の割合の値は小数第3位を四捨五入して表示しております

債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります

Ⅱ. 今後の展開

新中期経営計画（2020年度～2022年度）

Beyond the Border

2020-2022 ビジョン

**積み上げた「信用」と「信頼」を礎とし、
国内トップの保証会社として確固たる地位を確立する**



- ・住宅ローン残高シェア10%達成に向け着実な成長を実現
- ・保証債務残高16.8兆円の達成

新中期経営計画基本方針

- 中期経営計画の達成に向け3つの基本方針を設定



1 事業規模拡大

保証債務残高増加による事業規模拡大

- ①提携金融機関との関係強化
- ②既存住宅ローン市場へのアプローチ
- ③新規チャネル開拓

2 事業領域拡大

事業領域の拡大による収益源の多様化

- ①子会社を活用したグループ収益源の拡大
- ②新規事業への参入（収益源の多様化）
- ③信用保証事業の海外展開について検討開始

3 企業価値向上

企業価値の向上

- ①非財務情報の充実（ESG課題、SDGsへの取り組み）
- ②経営資源の有効活用
- ③業務の効率化推進

2021年3月期の取り組み

		前期の実績	2021年3月期の取り組み
事業規模 拡大	金融機関との関係 強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 銀行1行、信用組合1組合、JA3組合、JF1組合の合計6機関と新規提携 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 引き続き新規提携を推進
		<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ連携やインターネットを活用した申込スキームの提案を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 左記に加えてAPIを活用した効率的な申込処理スキームを提案
	既存住宅ローン 市場へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 住宅ローン保証ノウハウを生かし、RMBSの購入、他の保証会社の子会社化を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他社からの保証債務承継による、保証残高増加を推進
事業領域 拡大	子会社の活用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社求償債権の管理・回収業務を子会社債権回収会社に委託開始 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当社の営業基盤である提携金融機関網を生かし、債権回収会社の事業規模拡大
	新規事業参入	<ul style="list-style-type: none"> ✓ AI・ブロックチェーン技術を活用したビジネスモデルの研究 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新しいビジネスモデルの検討 ✓ ノウハウ、データを生かした収益獲得
企業価値 向上	非財務情報の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信用格付Aレンジの取得 ✓ 業務効率化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 非財務情報の開示項目を充実 ✓ 業務効率化の推進を継続

業績予想

(単位:百万円)

	20/3期	21/3期		前期比
		第2四半期 (累計)予想	通期予想	
営業収益	45,203	19,000	47,580	5.3%
営業費用	9,823	5,060	11,230	14.3%
うち与信関連費用	2,733	1,600	3,700	35.4%
債務保証損失引当金繰入額	2,547	1,600	3,700	45.2%
貸倒引当金繰入額	185	0	0	-
うちその他	7,090	3,460	7,530	6.2%
営業利益	35,379	13,940	36,350	2.7%
経常利益	35,760	14,000	36,870	3.1%
当期純利益	24,430	9,670	25,480	4.3%

業績予想の前提

保証債務残高	14兆8,400億円
新規保証実行件数	71,000件
代位弁済金額	13,420百万円
求償債権回収	9,370百万円

その他

EPS	370.42円
配当金(1株当たり)	111円
DOE	4.6%

ポイント

新型コロナウイルス感染症の拡大が、業績に与える影響については、不確定要素もあり業績予想に折り込んでいません。影響が発生する場合は、速やかにお知らせいたします。

資本・配当について

強固な財務基盤の構築に必要な資本を確保しつつ継続的な安定配当を実施

配当政策	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
当期純利益① (百万円)	24,430	25,480
配当額② (百万円)	6,542	7,644
配当性向②/①	26.7%	30.0%
1株あたり年間配当額	95円	111円

配当還元方針

安定的な配当を実施することにより、
長期保有株主の満足度を高める。

(単位:百万円、倍)

資本の検証	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
保証債務残高 ①	13兆6,160億円	14兆8,400億円
デフォルト率 (PD) ②	0.23%	0.23%
毀損率 (LGD) ③	33.8%	33.8%
損失額 (EL) ①×②×③	10,585	11,536
純資産④	145,049	163,986
純資産÷損失額 (EL)	13.7	14.2

(参考) ストレス環境下における検証

2021年3月期 (予想)
14兆8,400億円
0.40%
41.2%
24,456
163,986
6.7

【指標の前提】

- PDは過去最高値である2009年度の数値0.34%を採用し、更に20%のストレスを負荷
- LGDは過去最高値である2004年度の数値を採用

※ デフォルト率: 期初保証債務残高に対する代位弁済金額の割合(2020年3月期以前の15年平均)

※ 毀損率: 代位弁済となった先のうち、物件売却によって回収が出来なかった金額の割合(2020年3月期以前の15年平均)